

リ・デザインによるカットソー製品に関する研究

平山明浩^{*1)}、小林敏信^{*2)}、添田心^{*2)}
共同研究企業 TOKYO SANDS

1. はじめに

ファッション業界では、独自性の追求により他社との差別化ができる商品開発が望まれている。本研究では、古着の良さ(使い込んだ風合い、柄等)を引き出し、リ・デザイン(素材、機能、技術及び美的造形性の見直し)による新商品開発を行った。

2. 実験方法

(1)インクジェットプリントによるデザイン開発

(図 1 参照)

古着セーターの退色や破れ、ほつれ等を「味わい」として捕らえ古着の風合いに着目したデザイン開発。

(2)古着セーターと新しい素材をカット&ソーイング技術で縫うセーターのデザイン開発。(図 2 参照)

(3)古着 Tシャツや残布を紐状に裁断し再編成。新しい風合いを持った編地の開発を行って部分使いで差別化を図ったデザイン開発。

(図 3 参照)



図 1 インク J・P

3. 結果・考察

(1)インクジェットプリント。

古着をデジタル画像にするためには、スキャナー入力が有効である。画像編集は実物大型紙上で編集する。色の確認は、生地インクジェットプリントで出力しカラーテーブルを作成することが重要。

(2)カット&ソーイング技術

セーターを編むという既成概念からカット(裁断)&ソーイング(縫う)技術で新セーターを提案。

古着セーター裁断後の端の始末(ほつれないように工夫)

古着と新しい生地の寸法変化を考慮(スポンジ機活用)

ほつれ止めを考慮した縫製仕様作成

(3)古着 Tシャツ・残布を裁断し再編成したデザイン開発

古着 Tシャツ・残布等の裁断幅(紐状)が編地の風合いをきめる。

古着 Tシャツは長さが決まっているので結びながら糸を作り結び目も考慮したデザイン開発を行う。

型紙を作成し、型紙サイズに合った編地を作る。



図 2 カット&ソーセーター

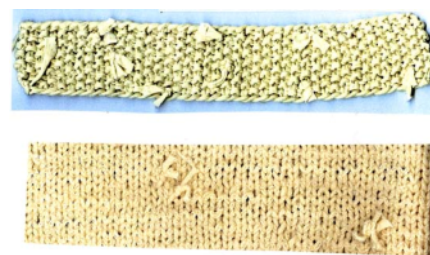


図 3 古着 Tシャツ活用編地

4. まとめ

本研究は、製品化・事業化支援を目的に、デザイン・設計(型紙作成)・試作さらに製品化を行った。生産は、メイド・イン・ジャパン(国内生産)にこだわり、セレクトショップ等高感度製品を扱うショップへの販路開拓で成果をあげた。

*1) 墨田支所、*2) 八王子支所